

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第10号 平成29年12月7日

先人に学ぶ「熊本的心」～道徳教育用郷土資料～

熊本県では、「助けあい、励ましあい、志高く」を熊本的心として掲げ、自分や他人を大切に、社会の一員として自覚を持った子どもたちの育成を目指しています。さらに、郷土の先人の伝記や逸話などから人間の生き方や考え方を共感をもって学び取ったり、伝統や文化の継承などから郷土に対する愛着を深めたりすることができる教材、道徳教育用郷土資料を作成し、学校を中心に活用しています。この資料は、小学校1・2年生用、小学校3・4年生用、小学校5・6年生用、そして中学生用に分け、編集してあります。

先日の授業参観では、1年生「洋裁にかけた夢」(松浦シズエ)、2年生「一足の古たび」(河口愛子)といずれも山鹿にゆかりのある先人の教材を活用した道徳の授業を観ていただきました。

松浦シズエさんは、東京洋裁技芸学院に学び、服飾関係の専門学校を設立し、洋裁技術の普及に尽力されるとともに、城北高校の創立者でもあります。子どもたちの感想には、「シズエさんの強い意志と行動力にとっても驚いた。」「自分の道は他人が決めても続かないと思うので、自分の道は自分で決めて、決めたからにはあきらめないようにしようと思った。」等がありました。

河口さんは、「物のいのちを精一杯生かして、豊かな生活を送る」という母の教えのもとに、大正・昭和の時期における女子実務教育の功労者であり、来民図書館建設資金を寄付するなど、郷土の文化教養の振興にも力をつくしました。授業のまとめとして資料にでてきた足袋の名前を考えました。

- ・愛たび (母の愛がつまった愛子さんのための足袋だから)
- ・ふたたび (繰り返し直して再び復活させられる足袋だと思うから)
- ・イチゴたび (自分が好きな果物くらい足袋が好きになるように)
- ・たびたび (度々うれしくなる足袋だから) 等すてきな名前が出ました。

郷土の先輩達に多くのことを学ぶことができましたようです。なお、郷土資料は、各図書館にもありますし、以下のようにテレビ放送もあります。ぜひご覧下さい。

■ 1～3回は放送終了しています。

第4回 12月9日(土)

第5回 12月16日(土)

第6回 12月23日(土)

*放送時間 午後4時30分～5時

■再放送

12月25日、26日、27日

*放送時間 午後2時50分
～3時49分

■総集編

平成30年1月17日(水)

午後8時～8時45分

いずれもRKKです。

